

高知県

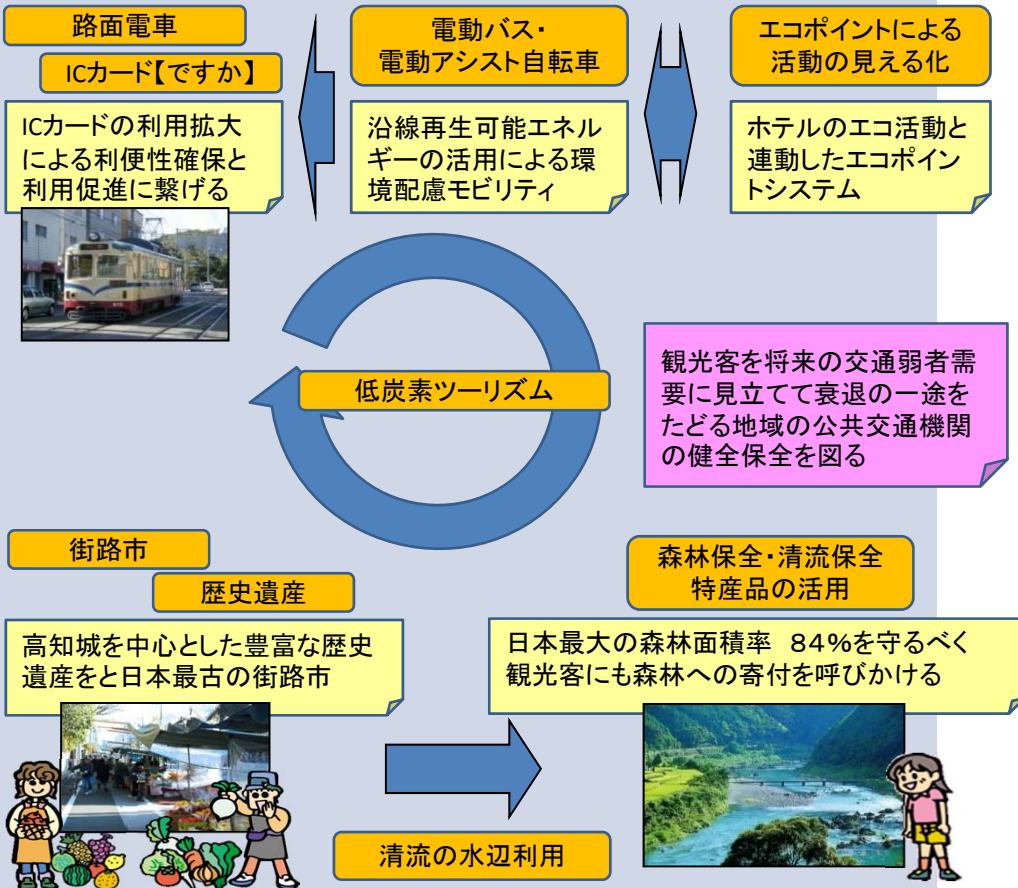
課題

高知県は県面積の84%を占める森林や四万十川・仁淀川に代表される清流などの豊かな自然や、高知城や坂本龍馬に代表される歴史遺産、日本最長の路面電車、最古の街路市などの地域資源が根付いている地域である。しかし、中央への人口の流出や急速な高齢化進行の中これらの地域資源を維持していくのが困難となっている。

実現を目指していく地域のイメージ

地域市民に加えて観光客の取組による地域活性化を行うと共に、文化と豊かな自然を未来に残すための仕組みづくりを行う。
公共交通機関を利用したCO2削減、街路市による地産地消モデルを中心に、観光・交通・環境・文化を繋げたコンパクトシティの実現をすることで、都市部と山間部等の新しい人の繋がりを作る。

調査事業の概要



対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

交通事業者が導入した路面電車・路線バスで相互利用できるICカード「ですか」は、行政と連携した公共交通の利用促進とモーダルシフトによるエコポイントを環境事業などに利用するなどの取り組みを行っており、地域市民に対しては環境対策などの啓発や利用の促進が図られている。

また、観光客の取り込みについては、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送と連動して大幅に増加した一方、放送終了後の維持策などの検討が必要。

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

年間の300万人の観光客を擬似的な交通弱者と見立てて、公共交通機関を利用した着地型観光の推進を行う。

- ◆ICカード「ですか」利用シーンの拡大
 - ⇒ポイントラリー、荷物預かりやお土産物購入時の決済での使用
 - ⇒ホテルや空港での配布して利用場所の拡大
- ◆サイクルシェアや電動バスとの連携
 - ⇒路面電車を活かしたエコモビリティと利便性の向上
 - ⇒交通結節点の改善の検討
- ◆着地型観光のモデルプランの策定
 - ⇒「体験」や「ふれあい」などを軸に自然や歴史・文化などをテーマ付けた
- ◆県全体の森林保全や清流保全へ繋げるための取り組み
 - ⇒「宿泊」、「移動」、「食」の観光に関わる行動全般を対象に評価
 - ⇒高知版エコポイントシステムを用いた環境配慮行動の見える化の検討

<今回の調査により得られた新たな課題>

- ◆ICカード「ですか」の交通利用以外の展開は、資本金の増資など必要
 - 資本金増資の規制緩和の特区申請やデビットカードと連携した決済
- ◆着地型観光の推進は、広範な発地側との連携
 - 売りやすい観光商品化やパッケージングと広報の充実
- ◆エコモビリティの推進
 - グリーン電力の利用を検討している県内地域との連携